



國圖携要

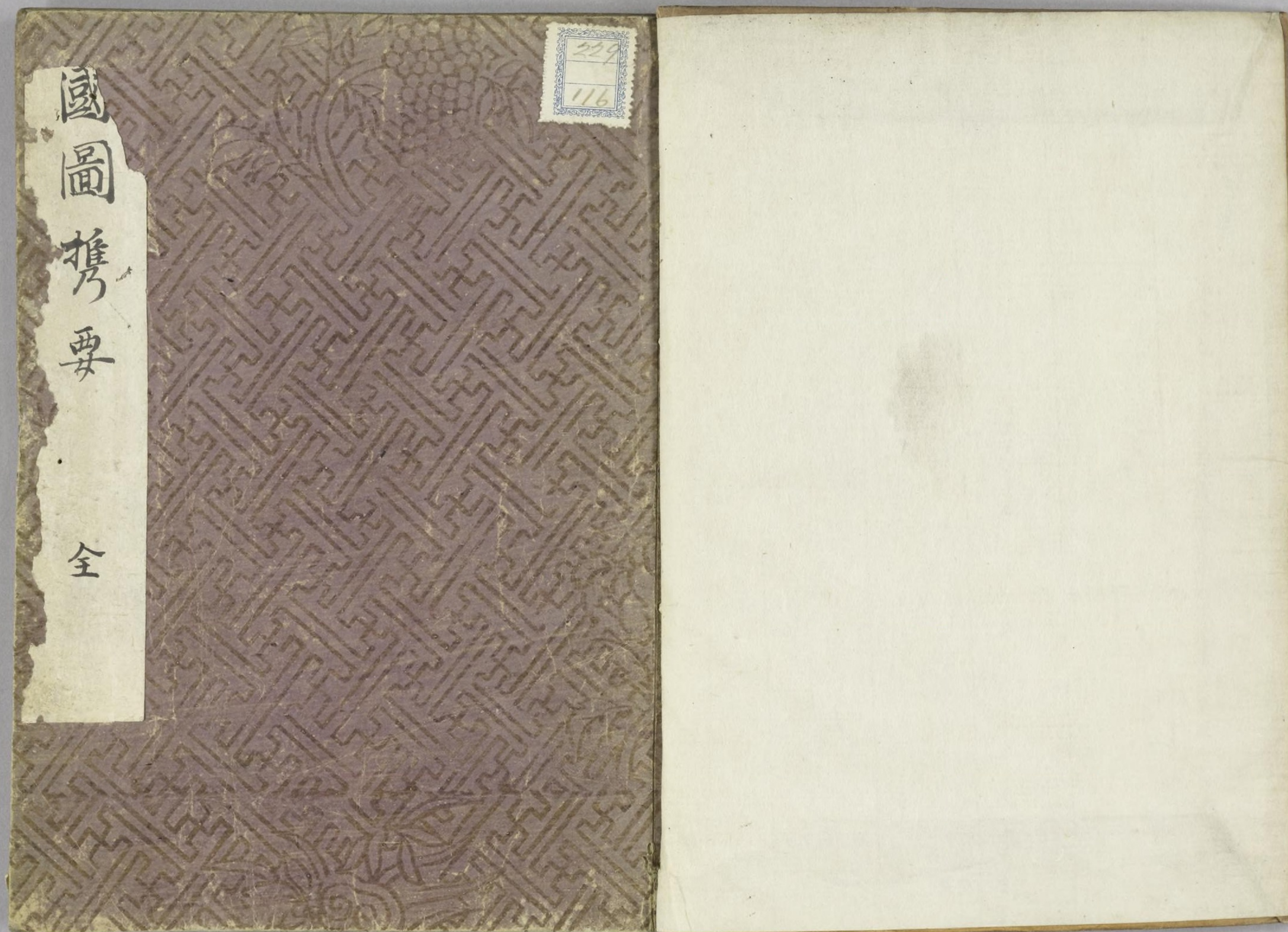
完

229
116

国図携要 229-116 00-001

国立国会図書館





國圖携要
全

229
116

国図携要 229-116 00-002

国立国会図書館





一時察

○其國ノ寒暖ヲ知ベシ寒國ハ冬月ニ勤ガタリ

秋季迄ニ限ルベシ暖國ハ早春ヨリ起テ極寒ニ及
如此ノ意味ヲ以始終ノ日數ヲ積ルベシ假令ハ復日ニハ海
岸ヲ廻リ秋月ニ至リ山澤ニ入ノ類ヒ各其年ノ時侯ヲ
考知リ且民業ノ害是亦人事肝要ノ節ナレハ考
アルベシ

一行程

○凡一日三四里亦ハ山澤險難ノ地ニ入時ハ短日三

里ニ及バズ障ナキ耶海辺平原ナラハ春日四五里ヲモ可歷
此外渡海經河ノ時風潮ノ順逆満干甚遅速アルベシ

一謹戒

○國圖ヲナス人ハ其國ノ全躰ヲ知ヲ本トス然ル時ハ
當用而已ニシテ要害等ノ事ハ不用ト云ヒテツカラ
知ヘシ國主人ノ胸臆ニ有テ圖者一生口外スヘカラス是
此道ノ謹戒ナリ呂ヨリテ誓約ノ印證アルヘキナリ





二 附屬役人並從早等誓詞ノ事

○ 村里田畠町間ヲモ糺スニ仍テ下僕等ハ百姓共ヨリ賄賂スル事有ヘシ一切受用スヘカラス

○ 國中ノ要害堀河ノ淺深城ノ繩等一切漏スヘカラス

○ 土産ノ物買取ルニ其土地古今通例ノ價ヲ以スベシ押テ不相應ノ價ヲ以其用ヲ足スベカラス勿論價ナクシテ耶ノ物ヲ用ヘカラス

○ 遠方ノ産物ヲ取ヨスヘカラス其土地ニ有合物ニテ事スムヤウニ取計フヘシ

○ 天氣不順ニテ其地ニ久シク逗留スル事有ヘシ其節ニ至リ從者ノ娼酒博奕堅ク戒ムヘシ

○ 國政ノ寬苛且民家ノ肥瘦當年ノ豊凶等ノ沙汰一切云ヘカラス

泊々ニテ國圖ノ用事ニタリニ云ヘカラス勿論途中ニライテ馬士等ノ者共ヘ用事ノ咄スヘカラス

○ 誼譯口論一切スヘカラス不得止事アラハ用事仕舞歸府ノ上ニテ双方ヨリ可申出吟味ノ上其品ニヨリテ可仕其望事

一 用器 ○ 修用器七色 立覽器 大見盤 小見盤

- 虎放器 小手卷 標竿 送竿 大開棹
 - 相圖色紙 小棹 杖地尺 水繩 間棹
 - 硯矢立 曲尺 紙 筆墨 糊 小細引
 - 小刀 小鋸 鉄槌 木槌 箒盤 彩具
 - カニ十 木賊 笥 定木貯用カノ代リ 遠眼鏡
 - 眼鏡
- 其所ノ百姓ヨリ持スヘキ品





一人力。或一人ハ山川遠近村里屋敷風景ヲ記シ一人ハ

繪心有テ万端町間丸右ノ物ヲ求メ一人ハ筆者是ニ

野帳ヲ記サシム一人ハ秘器懷器ヲ携テ圖者ノ手ヲ

傳フヘシ一人ハ全躰ノ圖者タルヘシ一人ハ糧用小荷駝

一撰書辰。國圖ヲナス事ハ頗大事ナリ輕率ニスベカ

一先觸。或来ル何日出立スヘシ何ノ村ヨリ何ノ村ヘ何日

一養身。水土ノカワルニヨリテ衣服ノ厚薄食物ノ損益

一草。食セサル珍物珍味曾テ食スヘカラス

○久シク幽谷山澤ニ逗ル時ハ其陰毒ニアタリ亦ハ

毒虫惡風ニ觸ル事アリ陽ヲ養フ支ヲ專ト

スベシ。乾田螺胡椒其外功アル藥種等心得ヘシ

一大量。海陸山川小路曲節方角長短廣狹國境

各其國ノ大畿ヲ知ル要本ナリ或ハ村語老談

ヲモ專尋問ヘシ必是ヲ用ニ変セスト云ヘ其據ト

スルナリ

一計古今。郷談古語且當時ノ風土俗変ヲ以古今ヲ

勘合シテ當用ヲ取計ルベシ是圖者ノ要支ナリ

一鄉導。其所舊住ノ村長故事ヲ知レル者或ハ樵

夫漁夫葡萄童ノ族ヲモ尋求テ兼テ吟味シ

用ユベシ。獵師炭翁ノ類專問道ヲ知レリ



一 順路逆路

○始終ノ廻リ場或ハ國境等全國ノ道路ニ始ルニ順アリ逆アリ或ハ逆ニシ或ハ順ニシ始終順逆周國ノ次第詳ニユ夫スヘシ最初能聞亂シ順逆乱レサル時ハ費ナクシテ業早シ甚損益アリ深ク味フヘシ

一 真ノ圖

○村里ノ形屋敷等違ハス小川小路小橋ニテ不捨詳ニ山林ノ木立枝葉小社煙寺卍堂溝洫等小徑塚墳ニ至ル迄不殘アラハシ記スヘシ是故分間ノ量セニキ時ハ成カタシ凡五分町ヲ用ユ

一 行ノ圖

○村里ノ形長短ヲアラハシ家敷ヲ具ニセス或ハ大河ニアラザル名流ヲ略セス山林木立ハ筆勢ニ任セテ枝葉ヲワカタズ余是ニ準ス

一 草ノ圖

○村里ノ形居所ハ平圓ヲ用ユ或ハ平卯形

等ナリ家敷略スルナリ凡大道ノ外小路ハ捨ヘシ

道路ノ曲節不詳都テ小事ハ除クヘシ外是ニ

準ス故ニ草ノ圖ハ成早ク真ノ圖ハ甚遲シ

一 分間

凡日本ノ内奥羽ノ外縦横二十里ニ滿ルタニ希ナリ國ノ大小ニ依テ分間相應アリ大國極真アリ小國省畧アリ其望ニヨル分間ヲ用ルニ大國真ノ分間五分町ヲ以本トス仮令ハ縦二十里横十五里ナル時ハ分間ノ長サ六間ニ間ナリ是ヲ以テ郡村ニヨリテ租ノ度量アルヘシ

一 同

城圖ハ三分四分五分間然ルベシ是相應ナリ郡圖等ハ一分何間等積リ大概ナリ

一 程位

分間ニ依テ發スヘキナリ或ハ五分町ノ圖ヲ求ル時ハ三町余迄ハ空眼ヲ以程ヲ野帳ニ付ヘシ





四五町ヨリ上ハ見込見返ヲ以テ求ル者ナリ假令ハ何村
 午へ二町半何村末へ三町余杯ト方角ヲ求メ
 遠サハ空眼ヲ以テ直ニ野帳ニ記ナリ是大業ニテ
 イテ小差ヲ論セサルナリ或ハ六寸一里杯ノ分
 間ノ時ハ二寸六町ニ當ルナリ故ニ十二三町迄モ空眼
 ヲ用ユ或ハ道筋ヨリ五十間三十間脇ニ有物ヲハ
 或ハ何村何道ノ尤ニ添右ニ添ト記スノ類ナリ

一空配 ○道筋一通ノ方隅ト間町トヲ求テ右ノ村郷山
 林ノ物ハ見込見返ヲ以テ在所ヲ求メ知ルナリ故ニ
 其場ニテイテ万物ノ遠近ヲ極ルニアラス宿ニ至テ
 分度ヲ以テ分間ヲ作ル時ハ各居リ所極リテ
 地幅ヲ知ルナリ村郷ヲ求ルニ凡四五町ノ内
 ヲ見込見込見込所ヨリ空眼ヲ以テ遠サヲ假ニ

記ヘシ假令ハ何村子ノ五分空十二町何村モノ三分
 空八町杯ト記シテヨシ是ハ磁石ノ見損シ振ナリ
 等ヲ改知ルタメナリ

一帛製表 ○帛ノ製表ヲ誤ル時ハ圖ニ及テ大ニ差出来
 夫迄ノ功ヲ空シクスル者ナリ程村帛券濃帛
 西ノ内帛ノ類ヲ用膠ドウサスヘシ四方メチ
 合正カルヘシ継手々ノ誤ヲ糾スヘシ此外ハ雜
 帛色帛ニハ目印幣ニ用ルナリ幣モ雨露
 ノタメニトウサ引タルカヨシ

一密銘 ○傳授ノ如ク何ニヨラス密銘ヲ用ユヘシ
 方角用鳥兔ハ尚更密銘タルヘシ
 一遠的 ○或ハ國中ニ秀タル大山亦ハ目立タル物カ或ハ
 遠近ニカギラズ所々ヨリ見ユル嶋々或ハ他國ノ





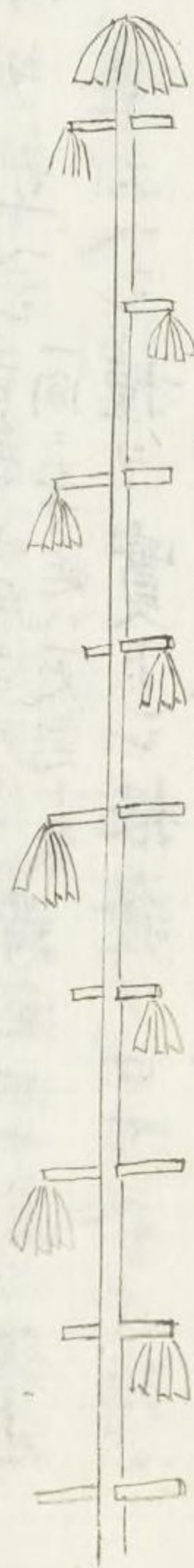
一無道路

浦々山等ヲ見込テ記シ置ヘシ但見所ノ心得有
ヘシ凡國中ニ名有所或海岸ノ出崎亦秀タル村
津湊如此ノ所ヨリ見込ヘシ仮令ハ何ト云所ヨリ何嶋
已ニ當ル何浦西ニ當ル何山末ニ當ル杯ト記シテ
後日ニ余ノ所ヨリ見込シ銘々ニ當ル鳥兔ヲ記ス莫也
同山同浦ヲ所々方々ヨリ度々見込見返スナリ是ハ
繫ヲ失フカ或ハ圖面ニツイテ形ニ相違アルカ鳥兔
ノ振損シカ如此ノ不審有ル時尤右ノ遠的ヲ以引合
地幅ヲ窺ル莫アリ俄ニ行當テハ求ガタキニ常々
見込見返シ記シ置ナリ他所ノ不動物ヲ以我動
物ヲ鎮ル理リナリ或ハ一郡一村ノ圖形ヲ求ト云ヘ
此術ヲ以ユリ合實否ヲ極ムヘシ第一ノ秘莫トス

元器鳥兔ニ合セ虎放器ヲ以圖シテ知ナリ所ヨリ草
結ヒ枝折ノ術有ヘシ

一標棹

一本立川カ橋カ亦ハ村ノ入口或ハ道ノ曲リ目或ハ印
見カクス所ニ留リ元器ヲ立跡ノ竿ヲ見込逆鳥
兔ヲ用ヒ根發ヲ以印ヲ見込棹ノ方隅間町ヲ知
トナリ
長四間余凡七寸廻リ



一種割

○大業ニツイテハ寸尺并算法ヲ用テ大益
アリ或ハ種ヲウツスニ元器ノ跡ニ竿一本ヲ立横手
ノ通りニ用テ定一本立ル是ヲ用空眼分数ヨリテ
用ノ種ヲ残スヘシ一本竿ノ間印ト根發ソロ分ナリ



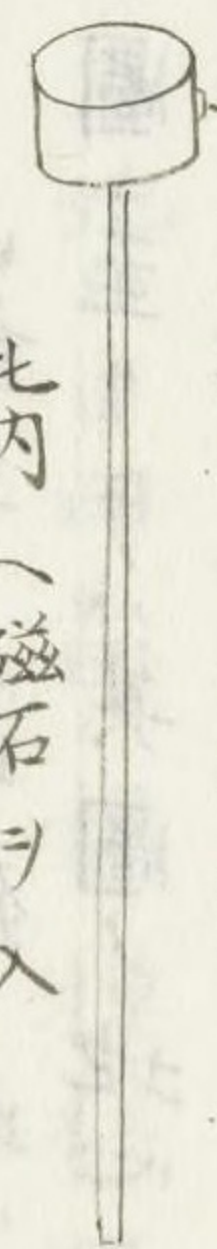


割ヲ以間ノ間ヲ究メ業速ナリ是ヲ種割ト云仮令ハ間十間
ヲ求ル時ハ根發ノ口ニ寸ヲ以一間ノ印ヲ挾ミ當ル所ニ
印ヲ立ヘシ方尺長二尺ニ定メ二尺ニ寸ニ寸六尺ニ寸即間十
間ヲ得亦二十間ニ立ル時ハ二寸ノ口ヲ以二間ヲ挾ミ當ル
所ニ棹ヲ立ヘシ二尺ニ寸十間ニ寸ナリ即間四十間ヲ得也
余ハ是準スヘシ種ヲ實トシ根發ノ口寸分ヲ法トス
等法ヲ以割時ハ間町ヲ求知速也曾テ無等
ナリト云凡大業ヲ勤ル莫當術ノ徳也故規矩元
法ニ等術ヲ解セスト云凡心中ニツイテ等法ヲモ可
嗜莫ナリ

一小棹杖石 ○木ニテモ竹ニテモ直ナル物ヲ一二間ニ指印ヲ付
用ヘシ或ハ深谷澤奥杯尋入時ハ道絶或ハ山川ニ付
テ入時ハ川中ヲ求メ行莫多シ亦ハ川中迄モ大木茂

リ屈曲多ク大竿ハ草木ニツカヘ用ガタシ故ニ小竿ヲ用
元罾モ小竿モ不叶時ハ杖石ヲ用間繩ヲ付求メ行ナリ
其間十間ノ内ニテ切々曲折見通シガタキ所何程難
所ニテモ杖石ノ方ク用ニ合ル時ハ曲折ヲ知莫速ナリ

杖石



此内ハ磁石ヲ入

一假分間 ○鳥兔町間ヲ求小板ニ方隅ヲ定メ分度虎
放罾ヲ以分間ヲ作り左右ニ有物ヲ書記シ如此段々求
行ナガラ遠近方隅万物ヲ極ルナリ小板ヲ合セ合紋
ヲ用ルナリ小板ヲ等フル時ハ即繪圖極ルナリ小
莫ニツイテ業スルドニシテ早シ國圖ニテハ小板ヲ
野帳ニ用風吹小雨等ヲイトバズ紙ニテハ用カタキ





夏有野帳ノ拾ハ上段ニ鳥兔中段ニ間町下段左右カ
物ヲ記スヘシ

一風景

○岩組清水ノ流スガタ小河ノ曲折出洲ノ樹木出
崎ノ形宮寺ノ地境滝ノ形池ノ形入合ノ谷ノ類都テ
風景ヲ寫ス本圖ノ外ニ其夏計記シ後ニ本圖ハ入
夏業入組ズシテ訣ヨク見ユルモノナリ此節繪
心ノ人ヲ用ヘシ山論等ノ節殊ニ此心ヲ用ヘシ

一番附

○大ナル圖ニ至リテハ其圖ノ地心ヨリ九ク
番附ヲスヘシ九廻リナルヘシ幾重モク番付ヲ
記シ周ルナリ仮令内側一番通り一周リシテ二側
目ノ番付ハ或ハ十二番三側目ハ二十七番杯ト云
如ク外へ出ル隨ヒ番數多ク成ヘシ一番通りノ十二
番三番通りノ二十七番ト云カ如ク如此スル時ハ繪圖

ノ方角通りニ違ナク切分ケテ認ル時ニモ合セ能モノ
ナリ以呂波付等品々ノ工夫有ヘキ夏ナリ是ヲ九
番付ト云

一色分

○古今定法ノ彩色有仮令ハ山ノ色ハ萌黃水ノ
色ハウス青ク土手ハ黃色石ハウス黒ク木草青ク
韓ハ黒赤ク平地ハ白田畠租ノ模様杯ト云如シ圖
面ニキラハシカラヌヤウニスヘシ

一山表裏

○何國ノ山モ前後ウ肉同シカラヌモノナリ
必一方ハ尖ニ一方ハタラカナリ其尖ナル方ヲ後ト
云滑カナル方ヲ前ト云國ヲ囲ム山アリ外國ニ向ヌ
山アリ兵家者流ニヨイテ地形ノ姓ヲ知ト云是
ナリ山ノ向イヤウニヨツテ五行ノ姓有テ此形筆
勢ニモ叶カタキ所アリ能ク工夫スヘシ





一山圖

○圖スルニ斤面アリ四方面アリ四方面ニ寫ス
時ハ帝量甚大ニ成者也最初定ル所ノ分間ヲ以
此所ヲ勘弁セスシテ認メ初ル時ハ山ノ所ニ至テ
紙タラサル者ナリ

右此一巻家傳之難為極秘令
傳受少年候令難免許人
非信學實志妄不可有傳与
者也





右當流之雖為極秘今授與島田長之
慎而勿棄

文化十二亥歲仲秋

宮井安泰



[Faint, illegible handwritten text on the right page]





229
116

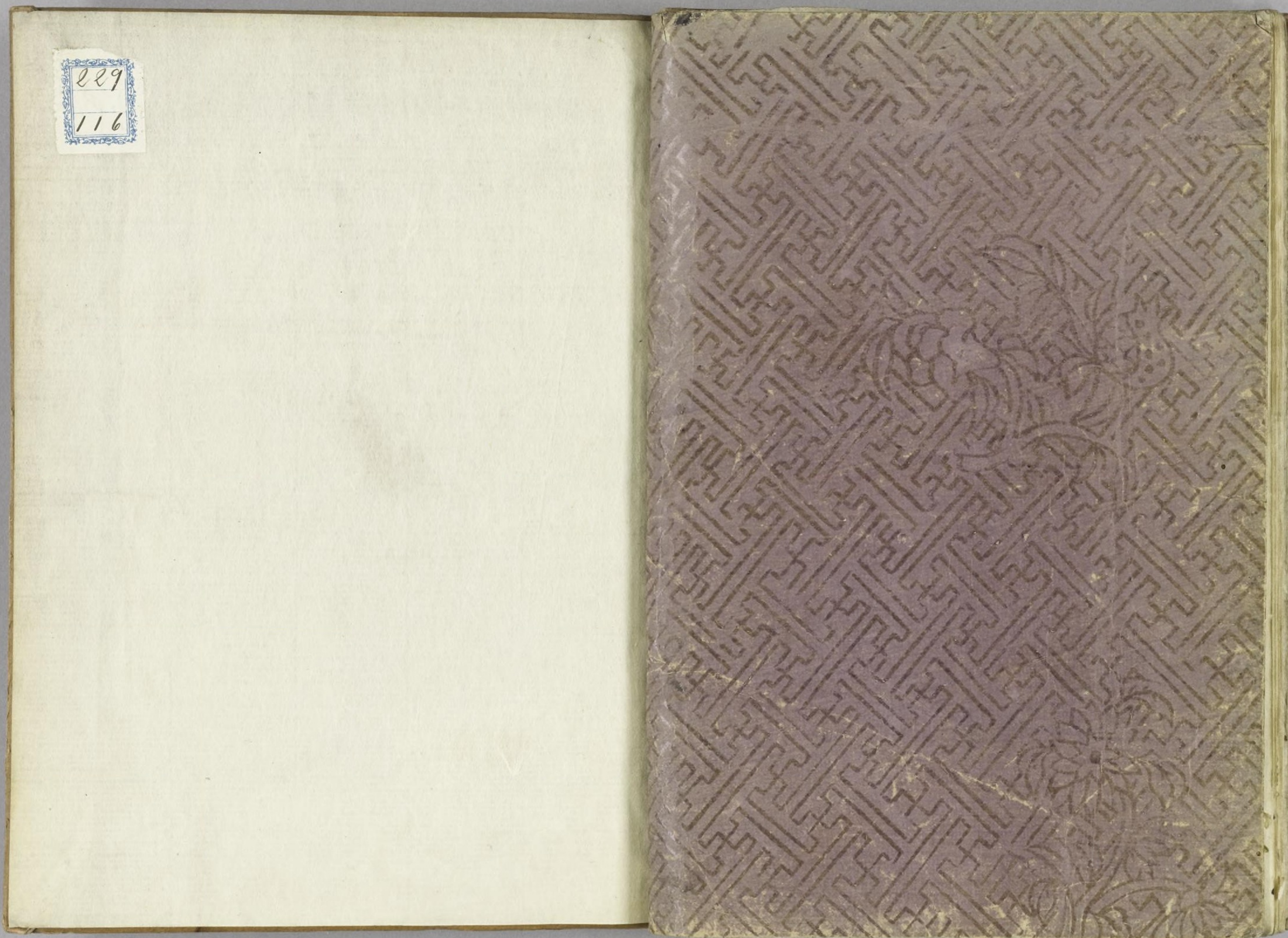
4/7/39

石田田村

...

...



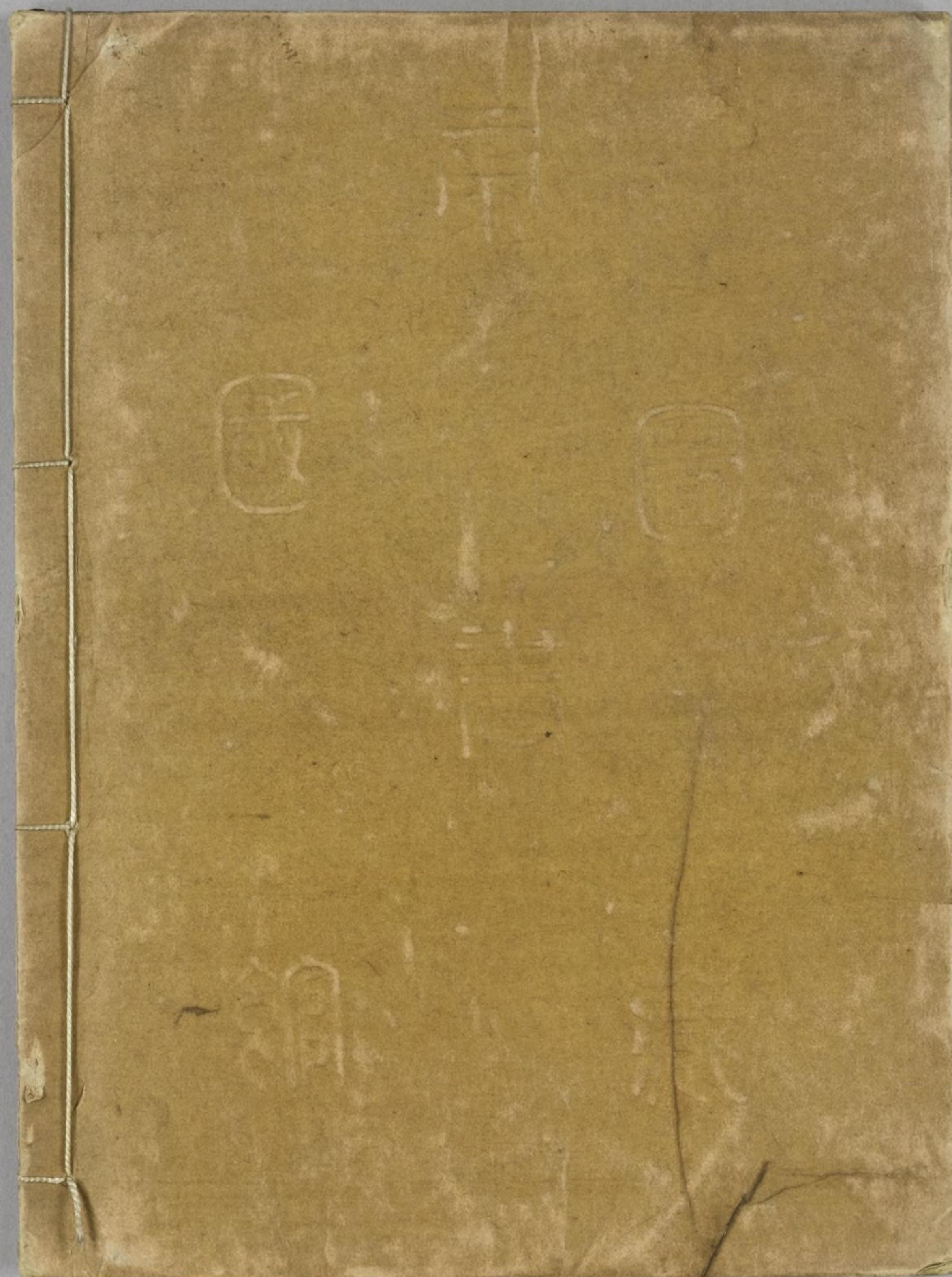


229
116

国図携要 229-116 00-014

国立国会図書館





国図携要 229-116 00-015

国立国会図書館

